

第6回庁舎周辺まちづくりプラン（仮称）等検討委員会での委員意見

本資料は、「第6回庁舎周辺まちづくりプラン（仮称）等検討委員会（書面開催）」での委員意見等をまとめたものです。

会議資料や庁舎周辺まちづくりプラン（仮称）等検討委員会については、下記市HPをご覧ください。（下記QRコードから閲覧可能です）

庁舎周辺まちづくりプラン（仮称）等検討委員会について



【参考】

第6回庁舎周辺まちづくりプラン（仮称）等検討委員会での議事および報告事項

<議事>

(1)市議会特別委員会（6/17開催）および現庁舎跡地（周辺）利活用検討、まちなか再生・賑わい波及検討分科会（7/13開催：第5回）での審議状況について

(2)新庁舎整備基本計画検討分科会（7/10開催：第8回、8/6開催：第9回）での審議状況について

<報告>

(1)第1回新庁舎整備事業検証委員会（7/26開催）のご報告

第6回庁舎周辺まちづくりプラン（仮称）等検討委員会（書面開催） 委員長による意見整理

はじめに

今回の委員会開催の準備を進めている最中に、令和8年熊本地震が発災いたしました。委員会の開催時期を延伸することも検討いたしましたが、延伸によってその後の様々な検討に影響を与えることがないよう、書面による開催といたしました。

令和8年熊本地震は、今後のまちづくりや新庁舎整備を考えるうえで、極めて重要な示唆を与えるものです。今回の地震を検証・分析することにより様々な知見や教訓を得て、新庁舎整備基本計画および（仮称）庁舎周辺まちづくりプランの検討に活かされることを強く望みます。

1) 地震の影響の検証と反映について

- 今回の地震では、中心市街地の建築物について外観上の大きな被害は確認されていないものの、これがさらに大規模な地震であった場合は、人命や都市の継続性に関わる甚大な被害につながった可能性もある。
- 今回の地震が現庁舎や中心市街地に与えた影響を調査・分析し、各分科会で議論を進め、新庁舎整備基本計画や、（仮称）庁舎周辺まちづくりプランの検討に活かしていただきたい。
- また、委員意見にもあるように、今後、民間建築物の改修や建替えの支援施策の検討を進める際は、耐震化や浸水対策などの防災・減災の視点を取り入れることも重要である。関係分科会では、この点を考慮し検討を進めていただきたい。

2) 「（仮称）庁舎周辺まちづくりプラン」の進め方について

- 現庁舎跡地（周辺）利活用及びまちなか再生・賑わい波及検討分科会からは、新庁舎整備に関し、事業の妥当性などの検証が行われていることを踏まえ、現時点で跡地利活用の詳細な議論を行うのではなく、新庁舎整備に関する検証状況を踏まえながら検討を進める方向で整理がされたとの報告があった。
- このことについて、委員から「現在検討中のまちづくりプランは、現庁舎の移転を前提としているため、今後の検証結果との間で手戻りが生じないように、両者の整合を図りながら議論を進めるべき」との意見が出されている。委員意見のとおり、検証結果次第では、新庁舎整備についても、現在の計画から変更されることも想定されるほか、各種施策の検討においても、今回の地震の影響を踏まえる必要があることから、まちづくりプランについては、これらと整合をとりながら検討を進めてほしい。

3) 回遊性向上の方向性について

- 分科会において、「回遊性の向上施策については、熊本の歴史、自然、景観、個性あふれる街並みや地上に集約された交通インフラ等の特性を踏まえると、地上を基本とすることが望ましい。」との考え方が整理されたことに関連して、複数のご意見が出されている。このことについては、次回以降の検討委員会において改めてご意見を伺うこととしたい。
- なお、複数の委員から意見が出されているとおり、歩きたくなる魅力的な歩行空間をどのように担保・整備していくかは、ウォークアブルなまちづくりの実現に向け重要な観点であるため、さらに議論を深めてほしい。

4) 新庁舎整備について

- 現在、新庁舎整備については、災害リスクを踏まえた事業の妥当性などについて、検証が進められているところである。今回、各委員から出された意見は、関係分科会はもちろんのこと、検証委員会にも共有され、よく議論し、整理していただきたい。
- 特に、今回の地震被害や災害対応を踏まえて、基本計画の素案に見直すべき点がないかについては、よく検討していただきたい。
- また、面積精査においては、議会棟もその対象であるが、例えば、市民と議会が空間を共有することで、面積の削減と開かれた議会の実現を両立することも考えられる。議会で精査された内容については、分科会でも確認し、検討委員会にもお諮りいただきたい。

その他、様々な意見をいただいているが、所管の分科会において、よく整理し、検討を行っていただきたい。

■第6回庁舎周辺まちづくりプラン（仮称）等検討委員会（書面開催）委員意見一覧（抜粋）

【議事2】新庁舎整備基本計画検討分科会での審議状況について

委員名	意見
岸井委員長	意見なし
国吉委員	意見なし
菅野委員	意見なし
田中委員	●新庁舎整備基本計画検討分科会にて面積等の精査を行っているが、議会機能については「議会と今後調整を行う」とのことで、現段階では検討の俎上に置かれていない。委員からは市民開放や委員会室等の利用可能性などの意見が出ているように、議会機能の市民利用が期待されている。基本計画見直しの段階での連携が必要と考えることから、ぜひ具体的な進め方とスケジュールを検討してもらいたい。
藤本委員	●資料4_第8回新庁舎整備基本計画検討分科会での意見および資料／資料1 各機能の必要性和面積精査 p.4／2 . 各機能の必要性の再確認／交流・共創機能／整備方針：「○本庁舎は、「憩いと賑わいにつつまれ、新しい“何か”が生まれる空間」を目指します。」について、「“何か”」は漠然としていて、他の機能と比較して機能の必要性が伝わりづらいと思う。例えば、資料5_第9回新庁舎整備基本計画検討分科会（書面開催）での意見および資料／参考資料3 交流・共創機能の縮減案 p.5に示す具体的な内容「（2）想定される交流・共創機能の利用シーン」を参照できるように、関連ページの記載を注で記すなどが必要ではないか。 ●資料4_第8回新庁舎整備基本計画検討分科会での意見および資料／参考資料4_交流・共創機能,半屋外スペースの面積精査について p.2,3／（1）面積精査における視点／種別について、この資料以前に「交流・共創機能」の具体的な内容が示されていないように思うが、ここでは「④会議スペース」「⑦利便施設（カフェ・コンビニ等）」も「交流・共創機能」に含まれると記載されており、さらには周辺施設での保管が可能と示されると、庁舎で担うべき交流、共創とは何かわからない。 ●資料5_第9回新庁舎整備基本計画検討分科会（書面開催）での意見および資料／資料1 面積縮減案 p.3.4／縮減案（第9回分科会時点）／交流・共創機能は占有スペースを設けず共用部や周辺施設を活用〔B、C〕▲4,500㎡について、精査後に0平米となっているが、全てを他の機能との重ね合わせや周辺施設での補完とするのは強引であると思う。特に「キッズスペース」については授乳室の確保なども必要である。また災害時においても確保しておくことが望まれる機能であると考えられることから、占有スペースとしての面積を確保していただきたい。
星野委員	意見なし
吉城委員	意見なし
猪毛尾委員	●概算事業費が1,230億円と算出されていたが、令和8年熊本地震が7月28日に発生したため、さらに建築資材や人件費が高騰している。完成までには、さらに費用がかかると市民は心配をしている。状況を把握し、対応が必要ではないでしょうか。
高田委員	●熊本の中心街は公共施設の更新が、その景観や都市機能に多大な影響を与えてきた。今回も政令市熊本の都市ブランドを象徴し、牽引する機能を発現できる計画にしていきたい。併せてウォーカブルシティを実感できるまちづくりに資するものであってほしい。
野田委員	意見なし

委員名	意見
原山委員	●（資料４） P５～P８ 資料２：フロアレイアウト案 2. 中央区役所平面図 高階層による熊本城の眺望の妨げを懸念。まちなか再生・賑わい波及の観点から位置づけや効果、また、景観確保の観点から低層化を含めた再検討をいただきたい。 ●（資料５） P１～P１０ 参考資料１：執務機能の縮減案 デジタル化の進展による将来的な行政機能に必要なスペースの縮減を考慮し、外部（民間等）への賃貸にも対応できるなどフレキシブルな設計が必要と考える。
長畑委員	意見なし
笹原委員	● 1 駐車場について 庁舎及び中央区役所の駐車場を整備するにあたり、駐車場が満車状態となり、駐車場への入庫待ちによる交通渋滞の悪化や交通渋滞に起因する交通事故を懸念します。 民間の駐車場は周辺にもありますが、要件を短時間で済ませたいという方は、一番近い場所を選ぶと予想します。 今後、詳細な駐車場への入庫と出庫のコース設計・駐車場配置を行うと考えます。 施設の管理面からゲート式駐車場を採用される場合、入庫ゲートを道路側よりも敷地内にある程度入った位置に設置するように検討してください。 理由は、入庫ゲートを道路側直前に設置した場合、入庫する車はその都度、道路上に停止することになり、後続車が常に路上滞留することになり、新たな交通渋滞が発生することになるからです。 交通渋滞対策のため、敷地内に数台分の滞留可能なスペース確保を検討してください。 逆に、出庫ゲートは道路側に近い方へ設置することにより、交通事故発生防止の観点から速度抑制につながると考えます。 現在、駐車場管理設備は技術革新が進展し、従来の駐車券発行型から車のナンバー読み取り型へと進化しています。 施設の維持管理費用に限りはあると思いますが、交通渋滞及び交通事故防止の観点からより効果的なシステム導入が可能であれば、導入の検討をお願いします。 ● 2 公共交通の更なる利便促進について 計画では、新庁舎はバスターミナルに隣接します。 来庁者必要台数を算出し、駐車場の整備台数はインパクトのある台数となっています。 今後の整備に際しては、市民へバスや電車等の公共交通利用の促進をより一層周知していただくようにお願いします。 ● 3 災害時の災害対策本部機能スペースについて 令和８年７月２８日に熊本地震が発生し、熊本県が県内の地震対応について、各自治体や関係省庁との連絡調整等を行っている状況です。 災害時における災害本部機能スペースの規模に関して、熊本県防災センター等で災害対応を行っていると思いますので、災害対策に要した執務室（オペレーションルーム、リエゾン室等）の見学や熊本県担当部署への聞き取りにより、参考値としてご検討いただけると幸いです。 熊本市は１０年前の平成２８年熊本地震での災害対応経験を有していることは承知済みです。 災害は発生規模や状況が異なるため、一律ではありませんが、令和８年熊本地震対応状況が、新庁舎における災害規模に応じて拡充対応できる必要な面積確保の参考値になると考えます。
上野委員	意見なし
早野委員	意見なし
黒木委員	意見なし

【議事２】新庁舎整備基本計画検討分科会での審議状況について

※追加意見

委員名	意見
岸井委員長	●議会棟も検討対象であるので、議会担当者のご意見を早めに頂き検討部会で内容を精査した上で、本庁舎の計画と一体のものとして本会議に諮りたい。会議室や市民との交流空間などの共用も検討する価値があると思う。
国吉委員	意見なし
菅野委員	意見なし
田中委員	●交流・共創スペース／藤本委員からのご意見について 交流共創機能については分科会でも議論しており、必要な機能や面積はきちんと確保することを考えている。今回は書面開催による意見聴取であったため、次回以降、面積精査を取りまとめる中で、的確かつ伝わりやすい表現を引き続き検討したい。 ●新庁舎の面積精査について／原山委員からのご意見について 本庁舎および中央区役所整備にあたっては、景観計画に則り、熊本城への眺望及び熊本城天守閣からの眺望を保全し、良好な景観形成に寄与することが重要と考えている。その考えのもと、景観に配慮した上での規模や高さなどについて、基本計画にて取りまとめていきたい。
藤本委員	意見なし
星野委員	意見なし
吉城委員	意見なし
猪毛尾委員	意見なし
高田委員	意見なし
野田委員	意見なし
原山委員	意見なし
長畑委員	意見なし
笹原委員	意見なし
上野委員	意見なし
早野委員	意見なし
黒木委員	意見なし